

## 福祉公社通信

# 羅針盤

この通信により、広く市民の皆様へ、公益財団法人として、また、全国初の行政関与型在宅サービス提供機関としての福祉公社の今をお伝えします。表題の羅針盤はご利用者の生活を包括的に支援し、その人生行路を共に歩む、昭和55年創業時からの福祉公社のサービス基本姿勢を表したものです。

発行日 平成25年9月10日【第6号（月刊）】

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

TEL:0422-23-1165 FAX:0422-23-1164

朝に秋が宿り爽風に赤蜻蛉が遊ぶ9月となりました。

経験したことのない酷暑の夏でしたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。9月は市の敬老福祉の集いをはじめとして、各福祉施設で様々な長寿のお祝いが催されます。夏の疲れの出る季節ですが、どうぞ、お元気でご参加ください。



＜紙面から＞

特集：北町高齢者センター

・・・ P.1～P.3

お知らせ・・・ P.3～P.4

## 特集：武蔵野市立北町高齢者センター（コミュニティーサロン）

所長 山崎 倫子先生（武蔵野市名誉市民 生涯現役94歳）

昭和62年、センターは全国初の単独型デイサービスセンターとして開設されました。介護保険実施以前から、世代を超えた交流の場・コミュニティーサロンとして、市民の皆様にご利用いただいています。「高齢者が安心して過ごせ、おしゃべりできる場所を作りたい」との想いで、夫と私は土地を市に寄付しました。

高齢者には居場所が必要です。また、地域社会が支える施設として、ボランティアさんなくしてセンターは成り立ちません。ボランティアの皆様には心から感謝しています。



### 基本方針

- ☆みんながいてやすらぎはぐくむ  
北町高齢者センター
- ☆プログラム活動を通じて  
共に生き甲斐を見出します
- ☆ご利用者が楽しく過ごせる  
センターを目指します



倫子先生を囲んでご利用者とスタッフ

1階：通所介護・介護予防通所介護施設

2階：小規模サービスハウス

（高齢者専用住宅5戸）

## 創立以来 ボランティアの皆様へ 支えられる 北町高齢者センター

多くのボランティアの皆様がプログラム活動・調理・ご利用者との話し相手・園芸等を支えてくださっています。現在、登録ボランティア 127 名と紙芝居・お話しのお話しの会・朗読の会の 3 団体が活動しています。1 日 10 名を超える方々のご協力で、センターは各種事業を実施できています。

心温まる人と人との交流、美味しく家庭的な食事、折々に四季の情緒・風情を感じる美しい庭の手入れ、楽しい行事など、ご利用者に喜んで頂けるセンターのために、今日もボランティアの皆様が活躍しています。



月曜 セラバンドを使った体操



火曜 書道



水曜 音楽療法



木曜 粘土



金曜 手芸



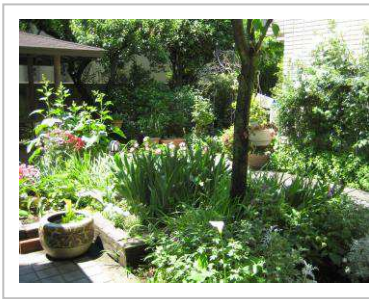
土曜 自彊術風体操



はなみずきまつり



四季折々の花の咲く庭



バスハイク 横浜



デイサービスセンター（コミュニティーサロン）の定員は、平日 30 人、土曜 20 人です。ご利用者、そのご家族、ボランティアの皆様がそれぞれに交流し、各曜日のプログラムも活発に行われています。平成 7 年 2 月、イギリス王室のダイアナ妃がセンターをご視察され、このプログラム活動をご覧になりました。ダイアナ妃が訪問された日本で唯一の福祉施設が、北町高齢者センターです。

## ご好評をいただいている食事

センターの管理栄養士が、創意工夫し考えに考えた献立を手作りで提供しています。食材の選定・調理法・だし・食器・盛りつけなど細部に亘り吟味して作っています。野菜が多く塩分控えめで多彩なメニューです。医食同源・食事は健康長寿の源です。ご利用者が、お食事を「楽しみ」に通所して下さるよう、日々、心をこめて調理しています。厨房では、毎日2、3名、行事の際は10名以上のボランティアの皆様にご協力いただいています。



七夕の食事



ボランティアと職員

### <メニュー>

七夕そうめん  
煮 豆  
むきえびのかきあげ  
さくらんぼ



北町高齢者センターは、地域医療に貢献なさった、共に医師である（故）山崎浩先生と倫子先生ご夫妻のご芳志を基礎として設立されました。先生ご夫妻を慕い、そのお役に立ちたいと願う地域の皆様が核となり、その輪が広がって数多くのボランティアの皆様が運営に参画されています。これはひとつの武蔵野の「地域文化」とも言えます。その営みは、以来、四半世紀以上も継続しています。

福祉公社は当センターの担い手としてこの伝統を守り、より良いサービス提供に努めてまいります。

## 公社からのお知らせ

### 北町高齢者センター はなみずき祭りのお知らせ

北町高齢者センターは昭和62年10月10日に創立され、そのシンボルツリーは花水木です。それにちなみ、毎年10月に、はなみずき祭りを開催しています。

センターに係る多くの方々が交流するお祝いのお場でもあります。是非、お越しく下さい。

心よりお待ち申し上げます。

日時 10月19日（土）午前11時～午後2時  
（バザー：午前11時から午後1時30分まで）

場所 北町高齢者センター

出し物 ご利用者の作品展 バザー ミニコンサート  
ご利用者・ボランティアの合唱  
焼き団子、五目ごはん、おにぎり、芋の子汁  
等ご用意しております。

問合せ 北町高齢者センター（TEL54-5300）

### 北町高齢者センターより

北町高齢者センターのご利用を希望される方は、担当のケアマネジャーにご相談の上、ご連絡ください。

ボランティア活動にご興味のある方は、是非ともお問い合わせください。共にセンターを支えましょう。

問合せ 北町高齢者センター

担当：上田（TEL54-5300）

### 若いじたく講座

#### ～ 若いじたくの基礎知識 ～

尊厳ある老後生活を構築するために、30有余年に亘る福祉実践を基に、わかりやすくお話しします。

日時 平成25年9月26日（木）

午後1:30～3:00

場所 福祉公社1階会議室

申込・問合せ 在宅サービス課後見係（TEL23-1165）

## 平成 25 年度第 1 回 苦情対応第三者委員会報告

### 福祉公社の苦情等への対応体制

福祉公社は、ご利用者の権利を擁護し公社サービスを適正にご利用頂くことを目的として、様々なサービス提供に関するご利用者等からの苦情を解決するための体制を整備しています。対象となる苦情は、公社によるサービスの内容、ご利用者と公社との契約に関する事項、市からの指定管理・委託事業に関する事項です。

苦情に対応する体制として、苦情を受ける職員を始めとして、受付担当者、解決責任者、解決総括責任者を段階的に配置しています。また苦情解決に公平性・中立性・客観性を確保し適切な対応を推進するために、次に挙げる第三者委員と第三者委員会を整備しています。第三者委員は実際の苦情解決に取組み、第三者委員会を組織して未解決の事案の協議、苦情申立人への解決結果の伝達、公社への苦情解決等の指針提示等を行います。

### 苦情対応第三者委員会

	氏名	職業等	担当事業
委員長	三上 義樹	(社福) 至誠学舎東京常務理事	高齢者総合センター
委員	栃折 暢子	武蔵野市教育委員 主任児童委員	北町高齢者センター
委員	浜崎 宏	弁護士	本部

### 第 1 回苦情対応第三者委員会

平成 25 年度の第 1 回苦情対応第三者委員会は去る 7 月 18 日に開催されました。

対象となるのは、平成 24 年度下半期（平成 24 年 10 月から 25 年 3 月）及び平成 25 年 4 月から 6 月までに受理した苦情等です。福祉公社はご利用者からのご意見等も広く苦情に含めています所、平成 24 年度下半期に寄せられた高齢者総合センター事業への苦情等は 8 件、北町高齢者センターへは 1 件、また平成 25 年度 4 月から 6 月までは高齢者総合センター 4 件、北町高齢者センター 1 件、本部 1 件でした。内容は、社会活動センター講座運営、施設設備、職員の接遇態度、サービス提供等に関するものでした。未解決事案は無く、これら解決した事案の申立人・内容・対応状況等を委員会に報告し、委員の方々からご意見をいただきました。

第三者委員からは苦情等への対応は適切との評価をいただきましたが、なお、ご利用者との意思疎通を怠らずサービスを提供するようにとの要請がありました。

このように福祉公社は苦情等に誠実に対応し、これをサービス向上のための得難い糧ととらえ、職員一同で共有して、今後ともより良いサービス提供に努めてまいります。

次号は平成 25 年 10 月 10 日発行予定です。

### 武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町 1-9-1

☎0422-23-1165（総務課、在宅サービス課）

☎0422-23-2611（ホームヘルプセンター武蔵野）

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町 2-4-1

☎0422-51-1975（管理・社会活動センター）

☎0422-51-1974（在宅介護支援・補助器具センター）

☎0422-51-2933（デイサービスセンター）

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町 4-1-16

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15（全て共通）



福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>